

栗原和也 自己紹介

2024/3/31

簡単な経歴紹介

栗原和也 自己紹介



フロントエンドエンジニア

栗原 和也

Kurihara Kazuya

1996年2月18日 生まれ

慶應大学総合政策学部卒業

- 2017年頃 学生起業を志すも挫折
プログラミング塾のカリキュラム通過率の低さを見て、簡単に Rails を教えらるえる教材を作るも、集客に難があり断念。
- 2018年～2019年 インターン
アリババでPythonを使った営業資料作成の自動化や、営業会社でのアポインターの仕事を担当。
- 2019年 レイヤーズコンサルティング
電力会社の英語の人事資料作成を担当。結果として、あまりプロジェクトで上手くいかず退職。
- 2019年～2022年 ニート & 実家のホテル
ニートをするかたわら、様々な企業の製品の改善資料を作ったり、Google を倒したいと思い簡単なプロダクトを作ったりしていた。ホテルでは、フロントスタッフや清掃を担当。
- 2022年～現在 ジャパニクス
大手ECサイトのフロントエンドの開発を担当 (React, TypeScript) 。また個人で vercel/Next.js のバグを改修の経験もあり。

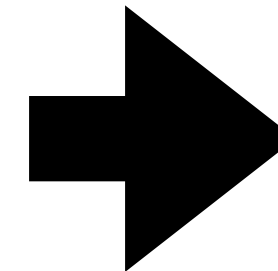
インターン時代

栗原和也 自己紹介

アリババ



- ・ 営業のメンバーやインターン生が30分かかって作っていたExcelのレポートがあった
- ・ 基本的には中国のアリババの管理画面からの転記

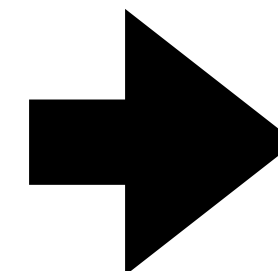


- ・ Python のスクレイピングで、5分以内でExcelへの書き込みができるように改善した
- ・ ログイン部分だけ手入力・スクレイピングの流儀で間隔を空けてアクセスするようにした

ステップハウス



- ・ アリババの環境より、成長できる環境を求めてインターンを開始
- ・ 最初は口下手なこともあって、1日70件あたっても1件もアポイントが取れない状況だった



- ・ 先輩のアポイントを録音して聞く・テンションを上げるなど自分なりに努力し、平均で1日50件当たって2〜3アポを取れるようになった
- ・ 結果、1500万円の売上に貢献するアポを取った

レイヤーズコンサルティング

栗原和也 自己紹介

- ・ ここでは反省しかありません！

- ✓ 懺悔 1：TOEIC850点取ったので英語のプロジェクトに入ったのに、英語の契約書などの知識を積極的に勉強しなかった
- ✓ 懺悔 2：夜遅くまで、仕事とは関係ないような上場企業の企業の情報を調べていたりしていた
- ✓ 懺悔 3：仕事をなめていた。お金をもらっているクライアントワークなのに全力投球できていなかった

ジャパニマス 業務内容

栗原和也 自己紹介

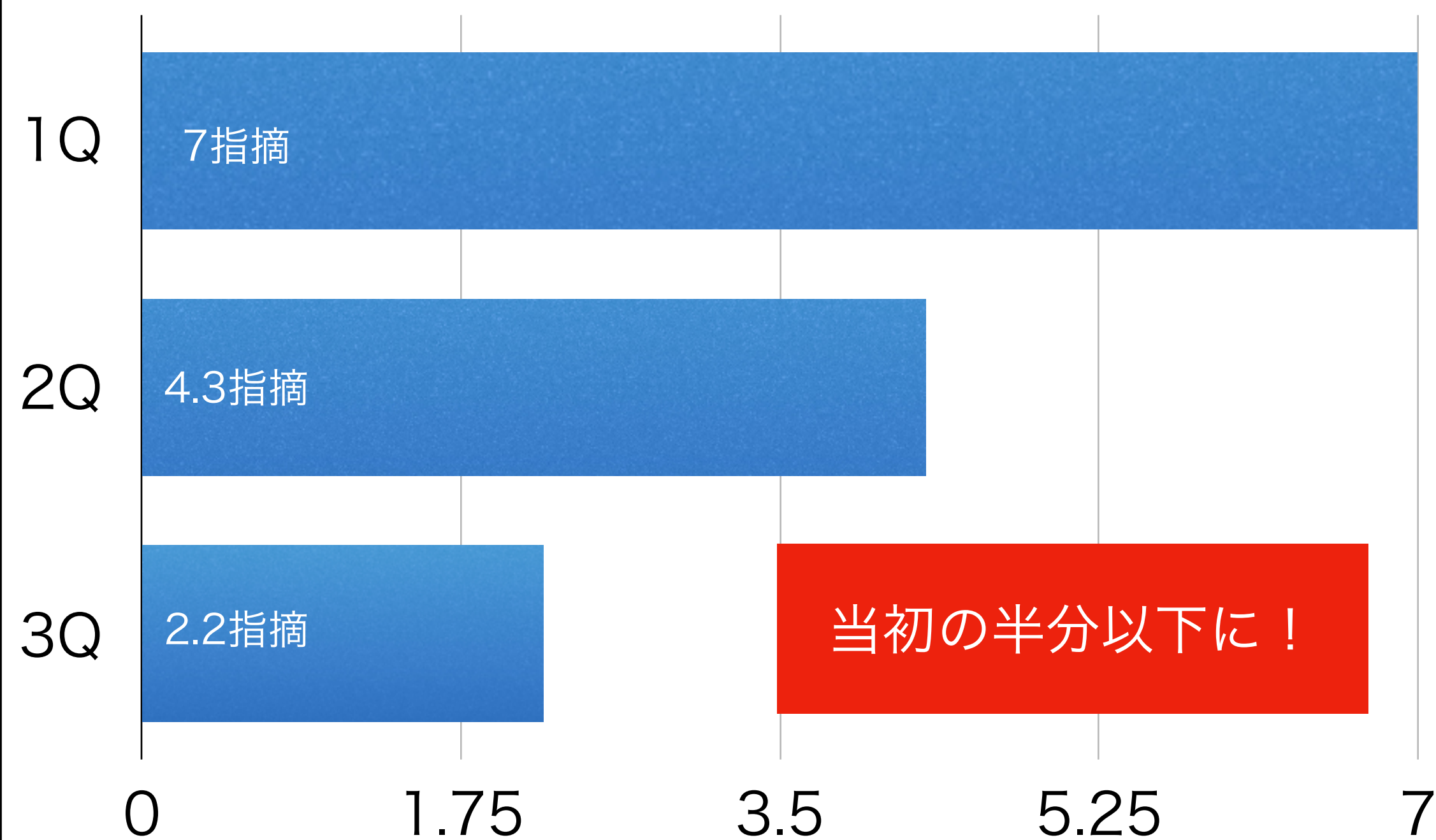
業務内容は公開していいか分からないので詳細は書きません。

- ✓ 研修では、PHPUnit を真似た自作ライブラリ作成 と PHP を使ったオセロゲーム・オセロAIの作成とそのテストを行なった
- ✓ その後は、大手ECサイトのフロントエンド開発プロジェクトに配属され、2022年12月から今まで1年ちょっと働いている
 - 使用言語は、TypeScript・React・SCSS

ジャパニアス 身につけたスキル

栗原和也 自己紹介

1PR当たりのレビュー数



開発で身につけた技術

CSS のデザイン力

Flexboxやgrid・隣接セレクト・BEMなどを全く知らない状態から学んだ

OSS を読み解く力

バグを直すためReactのコードやOSSのコードや開発基盤のコード(Go, Swift)読んだ

中規模のNext.js

永続化層のレポジトリの切り方・storybookを使ったコンポーネント開発・非同期でデータを取得する方法を学んだ

レビューする力

ロジック周りの実装・figmaとのデザインの差分を細かく見るのを中心に、レビューしている

個人開発

栗原和也 自己紹介

領域		概要	URL など
OSS	OSS貢献	<ul style="list-style-type: none">• Vercel/Next.js の server Actions の リダイレクトのバグ修正• Nue.js の 正規表現の書き間違いの修正	Next.js Nue.js
	自作	<ul style="list-style-type: none">• JUnit・PHPUnit・Cのテストライブラリの自作• HTMX・Tanstack Query の自作	JUnit ・ PHPUnit ・ C Tanstack ・ HTMX
	コードリーディング	<ul style="list-style-type: none">• AGL（車関係のOSS）のコードリーディング• Twitter の レコメンド基盤のコードリーディング• Lucene という Elastic Search の基盤のコードリーディング	AGL 関係 Lucene
Web	個人開発	<ul style="list-style-type: none">• Webサイトテスト自動化の個人開発（Reactでフロー図を書いて、Lambdaでフロー図をpythonのスクレイピングコードに落とし実行させる）	Qiitaの記事
勉強系	OS 読書	<ul style="list-style-type: none">• UNIX V6 のコード解説本を2周しました（内容は全く覚えていません）	この本

アピールポイント

栗原和也 自己紹介

技術

- ・ OSS など大規模コードを読むのを苦にせず、場合によっては本家のコードを真似することができる
 - React-scroll というライブラリを使っているときに、データが多すぎる時にスクロールをしたらページがクラッシュする問題があった。その時は、その React-scroll のコードを読んで、クラッシュしないような表示を実現できるようなコードを考えて書いた
- ・ 基本的なデザインができ、figma との差分をデザインチェックできる
- ・ 大規模コードの OSS に貢献したことがある
- ・ 読めと言われたら、TypeScript・Javascript 以外でも、Go・C・Java・PHP らへんを読んでコードを書くことができる（Swift・Kotlinは読める）

コミュニケーション

- ・ 教える時は、最初のうちは全てを教えても、少しずつヒントを提示して自分で考えてもらうことを重視しています。また、検索しても出てこない社内のみのナレッジは社内ネットワークに残すようにしている
- ・ レビュー時は、柔らかい言葉を選んでいづもり
- ・ 慣れない作業の場合は、細かい報告やコミュニケーションを心がけている

課題

栗原和也 自己紹介

課題 1

OSS に貢献できる打率が低い

- vercel/Next.js は 7つPR送って、ようやく1つマージされる打率。
- バグ修正ですら、この打率では、OSSでの機能追加は先が遠そう。

課題 2

チームをリードする経験が少ない

- 後輩を育成したり他人の相談にのる機会はあるが、チームをリードする経験が少ない。
- 年齢的に、技術1本でなく幅広い経験をした方がいい気がしている。

課題 3

プロダクト思考がない

- 昔はあんなにパワポを書いていたのに、今は大規模開発の一部を企画の方の要望に沿って開発しているだけ
- 製品の成長を語れるエンジニアになりたい

→ どれかを身につけるようになりたい

おまけ

栗原和也 自己紹介

- ・ 趣味

- ✓ 囲碁は好きで、高校の時に神奈川の高校大会で個人団体優勝を、最近は東京都の無差別の大会でベスト6にまでなったことがあります。
- ✓ OSS の issue を漁ること → issue 切った人の役に立つことができるのが小さなモチベーション

- ・ ここまで見ていただきありがとうございました！
- ・ [github](#) ・ [qiita](#) も見てみてください！